

指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

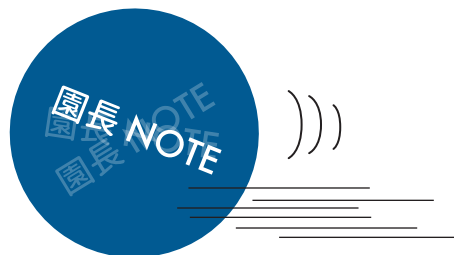


No.212

2020.Dec.



荒井園長 編



「リモート・・・GO TO・・・？」

今年も一年を振り返る時期となっていました。色々ありましたが、やはり今年は「With コロナ」でしょうね！マスクとソーシャルディスタンスと消毒、リモートによるテレワーク・研修、経済活動のためのGo Toトラベル・イートなどなど、新しい日常が当たり前になりました。

もう一つは、“鬼滅の刃”でしょうか！魅力は色々あると思いますが、炭治郎のやさしさや強さ、家族（妹）への愛、仲間との絆・信頼、主人公にも劣らない登場人物、あとは格好良さでしょうか！「えっ、こんなものまで」というほどコラボ商品があふれ、鬼滅の刃一色という感じです。

さやま園でも負けず劣らず、個性豊かで魅力的な方が沢山います。それぞれが活動で作った様々な作品を、ギャラリー室で2か月ごとに入れ替えながら個人に焦点を当てて展示しています。利用者の作品が輝くようデザイナーの方とも相談をしながらレイアウトにも工夫を凝らしています。廊下には季節に合わせた様々な装飾や、“にやりほっと”“good job”シート”が張り出されています。“へーっ”と思ったり、“ほっと”したりするエピソードが色々書かれています。機会がありましたら（コロナの終息後）ぜひご覧ください。

新型コロナウイルス感染は、第三波がきており、未だに終息する兆しはありません。利用者の生活を守りながら、安全と楽しみの両立を図ることは正直

大変なことです。福祉施設での感染は、全国で1370か所を超えました。“福祉は人なり”、いつ、誰が、どこで感染してしまうのか分からない中、毎日が変わらない日常であるよう、これまでの行事（夏祭りやさやま園祭）を園内行事として行いました。趣向を凝らした職員のアイデアで、とても楽しむことが出来ました。この後も、クリスマス会、新年会と続きます。その前にお正月の初詣があります。お参りに行くことが難しいことから、昨年に急遽職員のアイデアで行った「さやま園神社」を行事として行うことに決めました。職員が神主・巫女に変装し、鳥居・本殿、参道も作ります。決して神を冒瀆しているものではありませんのであしからず。おみくじもあり、きっと楽しい企画になると思います。

また、利用者が元気で生活している様子を写真に撮ってご家族にお送りしています。ご家族の方より、お子さんが元気で過ごしている様子が分かって嬉しかった。職員の方々に感謝します。というお言葉も頂戴しています。

まだまだ、我慢を強いられる日々が続きますが、これからも感染防止対策を継続せざるを得ない状況をご理解頂き、ご家族をはじめ、さやま園を支えてくださっている皆様、これまで以上のご理解とご協力を今後ともお願い申し上げます。

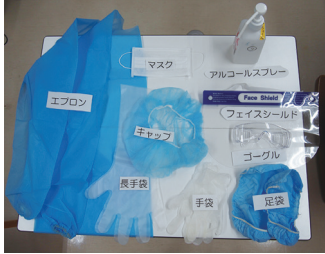
今年の「顔・漢字」、「流行語」は何になるのでしょうか？



ガウンテクニック

さやま園では、日々の感染症予防に加えて、もしも感染症がさやま園で蔓延したときに対応できるよう備えています。その一環として、看護師から生活支援員に向けた『ガウンテクニック』の研修を行っています。今回はこの『ガウンテクニック』についてご紹介します。

※ガウンテクニックは場所や感染症の種類などによって必要な装具や対応が異なります。一つの例としてご覧ください。



ガウン (防護服一式)

感染症対応のセットはひとまとめにしておくとう事に慌てず対応ができます。さやま園では『感染症ワゴン』を作り、感染症対応をする際に必要な一式を用意しています。写真に写っているものの他にピューラックス0.1%、桶、ぼろ布、ペーパータオルなども感染症ワゴンに入っています。

ちやくだつ
着脱のコツ
伝授しま〜す!

着る

着用時のポイント



短い手袋は
エプロンの袖の中に入れる



長い手袋は
エプロンの外側に



ズボンの裾が
長い時は裾をまくる

モデル: 阿部看護師

脱ぐ

脱ぐときに肝心!

① 長い手袋を外す



手袋の外側を持って



手袋は外側(汚れている面)を内にするようにくると丸めて捨てる



もう片方の長い手袋を外すときは内側から手を入れる

② ガウンを脱ぐ



1 腕を下げ、この辺りまでガウンを下げる



2 外側を内にするように脱ぐ



3 内側に手を入れる



4 腕を引き抜く



5 ガウンの裏に手を入れ前に寄せる



6 外側が内にするように丸めて捨てる



③ 靴袋を脱ぐ

内側に指を入れて脱ぐ



1



2

④ 短い手袋を外す

1 長い手袋と同様、外側を持ち、外側が内に来るように外す
2 もう片方の手袋は、内側から指を入れて外す



⑤ アルコールで手指消毒

手を洗うように、爪の間や指、手のひら、手の甲、手首を消毒する



⑥ フェイスシールドとキャップを外す

キャップは指を内側に入れて外す

おしまい



10月22日（木）さやま園祭が開催されました。今年度はコロナ禍ということもあり、例年とは違ったさやま園祭となりましたが、年に一度の一大行事を利用者・職員ともに楽しみました。今回のテーマはハロウィン!!

園内だけでのんびりと

例年は地域や外部の方を招いて盛大に行っているさやま園祭ですが今回は園内の利用者・職員のみでの実施になりました。例年よりも賑やかさには欠けますが、利用者の皆さんもゆっくり、のんびりと催し物や買い物を楽しむことができたようです。



販売ブースの様子

屋台がなくてもお祭り気分♪

例年は園庭に屋台を開き、お祭りの食事を味わいますが今回は栄養士・調理員の皆さんが園内でも楽しめる素敵なお祭りメニューを作ってくださいました!さやま園祭定番のカレーにお祭りといえば!ポテトと唐揚げ、色合いが綺麗なカラフルソーダ、そしてとってもかわいいお手製チョコバナナ!表情が何種類もあって皆さんどれにしようか迷っていました。栄養士さん、調理員の皆さん、ありがとうございました。



バリエーション豊かなチョコバナナ、可愛いですね。



カラフルなソーダが気分を盛り上げます。



さやま園祭といったらカレーです。

主役はあの3人…？

ステージでの出し物やビンゴ大会などの催し物がない代わりにハロウィンに彩られたホールで園祭当日限定アイドル(?)とのチェキ撮影会を開催しました。突如ホールに現れたあつきー、かつきー、みつきーと一緒に仮装をしてチェキ撮影。撮ったチェキはその場で利用者にプレゼントされました。ホール内にはお手製のフォトパネルも設置され、皆さん写真撮影を楽しんでいました。ところであつきー、かつきー、みつきー、3人の正体とはいったい誰だったのでしょうか・・・？(答：園長、副園長たちでした)



★3人の中から、利用者さんが一緒に写りたい人を指名!!さて一番人気は誰だったのでしょうか～？



ペインティング！

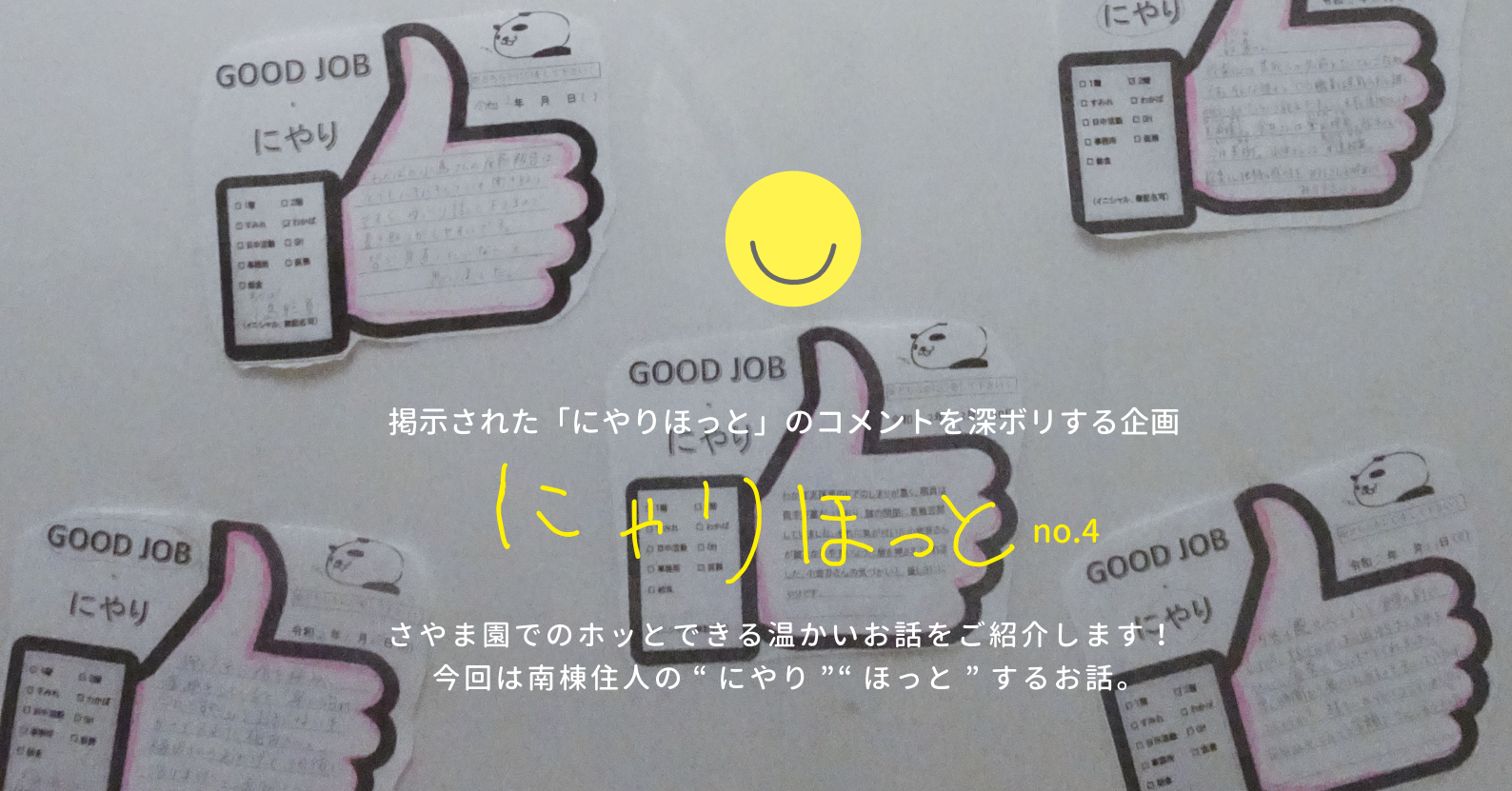
当日、腕にバンダナをつけた職員に声をかけると…。トリックオアトリート!ではありませんが顔や腕にペイントしてもらえると企画もありました。お化けや飴玉にナミダ?!みんな素敵っ!

マスクも仮装に！

例年、さやま園祭の行事担当職員は当日はっぴを着て参加しています。今年度はホールの装飾テーマがハロウィンということもあり、当日はマスクに各自絵を描いて参加。マスクが当たり前の日常となりましたがマスクに絵を描くとハロウィンの仮装にもぴったりでした。



来年の秋はどんな世の中になっているのでしょうか？来年はまた地域の皆さんをお迎えし、さやま園祭が地域とさやま園をつなぐ場になることを願っています。



掲示された「にやりほっと」のコメントを深掘りする企画

「にやりほっと」no.4

さやま園でのホッとできる温かいお話をご紹介します！
今回は南棟住人の“にやり”“ほっと”するお話。

STORY 1

仮面ライダーが大好きな T・N さん、40 代女性の方です。人と話すのが大好きで特に仮面ライダーの話が好きとのこと。いつも仮面ライダーごっこをしており、特に「しんのすけさん」が大好きで、仮面ライダーが放送される日はテレビに夢中（笑）「しんのすけさん」とは誰か・・・？気になっていたところ遂に「しんのすけさん」の正体が発覚しました。実は、俳優の竹内涼真さんたけうちりょうまだったようです！ある日 T・N さんが、「しんのすけさん」の話をしていたところ、「しんのすけさんとは竹内涼真さんのことですね」とある職員さんが返事をしたそう。その職員さんは、今年度来られた方で仮面ライダーに詳しいのだとか！T・N さんは大喜び！会話が盛り上がったとのこと。それがきっかけとなり、その後も仮面ライダーの話題のやり取りを見る日があるとのこと。その二人のやり取りを見るたび、ほっこりとした気持ちになるそうです。見事 T・N さんの心つかを掴んだ職員さん、そして T・N さんの二人にぐっときました。

いかがでしたか？さやま園では、利用者や職員の“にやり”としたり“ほっと”したエピソードを皆で共有する、「にやりほっと」を掲示しています。

STORY 2

I・M さん・・・この方は筆者が南棟へ遊びに来た際に、印象に残った方です。

背の高い男性が好みの 50 代の女性の方です。筆者が南棟を歩いていると、DS ゲーム機を居室から持ってきて、何かを見せようとしてきました。ゲーム画面を覗いてみると・・・あの有名なスケート選手「羽生結弦さん」はにゅうゆうづる写真がたくさん写っているではありませんか！おまけに「羽入結弦さん」の写真集まで！とてもいい笑顔です (^-^)

I・M さんに羽生結弦選手のどういうところが好きですか？と聞いたところ・・・「滑っているところがカッコいい！顔が可愛い！」だそう。以前も同様な出来事がありましたが、ときめきと乙女心はいつまでも大切だな～と筆者自身が感じた瞬間でした（笑）

ちなみに、I・M さんはさやま園で働いている、ある背の高い男性職員がお気に入りだそうです（笑）



インタビューに答える I.M さん



「にやりほっと」が利用者さんの^{ゆかい}愉快な話やほっこりしたエピソードを紹介するのに対し「GOOD JOB」は各グループや個人で実行した素敵なアイデアや知恵、さやま園で働いている職員の良いなと感じた支援を紹介しています。「にやりほっと」同様、園内の掲示板に良い実例があるとペタペタと貼られ、情報を共有しています。

初回は2階グループ職員の「グッジョブ」を紹介します。

「Kind Lady」カード

2階グループの職員さん。ある月のグループ会議でこんなことを提案したそうです。

2階には33名の利用者さんがいらっしゃいます。皆さん親切で優しい女性です。

例えば、DさんやAさんは洗濯機のゴミ取りを丁寧^{ていねい}にしてくださり、Kさんは職員と一緒に消耗品^{しょうもうひん}を運んでくださる。

何かお手伝いをしてくださったとき、その親切な行動に対する「いいね」を可視化できれば「私も役に立っている」と感じてもらえるのではないかと、との想いから「Kind Lady」カードを発想しました。

親切な行為をしている利用者さんに、このカードをお渡しします。

実際にカードを付け、洗濯機の掃除を手伝って下さったYさん。「今度もやるので、ぜひ声をかけてください」「私はしっかり掃除をすることができるんです」と誇らしげに答えていました。

お掃除や消耗品補充^{しょうもうひんほじゅう}のお手伝いのみならず、包布交換^{ほうふこうかん}の際に包布類を回収するのを手伝って下さったり、毎日職員と一緒に食堂掃除を行ったり。親切の内容は様々で、どれも心温まるものばかり。振り返るとたしかに2階グループには33人の「Kind Lady」がいるなど改めて思うのでした。

2階の親切な人の存在を可視化するアイデア「Kind Ladyカード」を提案してくれた2F職員さんに「グッジョブ」です。





GALLERY No.7



「見てみて私の手仕事」 齋藤翠のクラフト展

とても手先が器用な齋藤翠さん。他の利用者さんがやっていない事に興味があり、職員が提案するクラフト本の中から、いろんなモノづくりに挑戦してきました。

彼女の強みは『集中力!!』。どんな複雑な作業でも、この集中力をもってキレイに仕上げてゆきます。まさにさやま園のクラフトマン!! 彼女の作品は、職員から注文を受け、制作販売するほどの人気です。

この展示準備にご本人も興味津々な様子でギャラリーに来られ一緒に準備をしました。とてもシャイな方なので、多くは語らないにしても、一点一点飾られていくご自身の作品に笑みが溢れていました。



齋藤さんが作った切り絵をグリーティングカードとして販売しました。

さやま園のギャラリーは2ヶ月ごとに利用者を変えて作品を展示しています。

職員のつぶやき

今年7月に入職しました。

さかのぼること2年前、当時3歳の娘とさやま園で開催されたシルクスクリーンのワークショップに参加し、この時始めて近隣にこのような大きな障害者施設があることを知りました。このワークショップに申し込んだ時の電話口での温かい対応を今でも覚えています。

初めて入ったさやま園は、電話口で感じたままの温かな雰囲気職員の方々が利用者の皆さんに親身に温かく寄り添う姿を目にし、「自分も福祉の場で役に立ちたい、叶う事ならばさやま園で誰かの力になりたい」という思いが生まれました。そして2年経った今、あの時の思いが叶いさやま園の一員となれたことをとても嬉しく思っています。ワークショップで利用者の方々や子供たちと完成させたオリジナルバッグ、そして皆さんと一緒に撮った写真が掲載されているカルミアは今でも家族の宝物です。

嶋田恭子

編集後記

すっかり日も短くなり、冴えた空気が身に染みる季節となりましたね。さやま園では恒例の「さやま園祭」の規模を縮小して、ハロウィンを取り入れた園内行事として開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、日頃は外出や様々なイベントが制限された生活を送っている利用者にも笑顔があふれる一日となったようです。

今回のコロナ禍によって、あらためて人は社会とのつながりの中でこそ楽しく生きられるのだということが浮き彫りになったと思います。一刻も早く今の状況が終息して欲しいですね。

人と人のつながりの中で、笑顔があふれる毎日となりますように。

なぎかわ 柳川



発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：荒井隆夫

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL：042-391-3275 ・ FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<http://www.sayamaen.com>

ブログ

<http://temae2016.jugem.jp/>

